

総務文教委員会

鈴木 弘 委員長 コメント

最初に市立小・中学校給食費の無償化を求める請願を審査し、趣旨採択とすべきものと決定しました。

次に「教職員の人材確保及び学校の働き方改革に向けた教育施策の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書を審査し、全員異義なく採択すべきものと決定しました。

引き続き、公の施設の指定管理者の指定について、富士宮市民文化会館及び富士宮市大富士交流センターを審査し、全員異義なく可決すべきものと決定しました。

最後に政策課題である小中学校における不登校の実態と対応について協議し、提言書の文案の最終確認を行ない、全員異義なく認められました。

その後市長、教育長に提言書を提出しました。



政策提言

政策提言とは・・・

富士宮市議会常任委員会（総務文教委員会、環境厚生委員会、産業都市委員会）が各々設定した、解決すべき市政の課題について2年間協議検討した結果、市に提出する提言を政策提言と呼んでいます。

令和5年6月に「小中学校における不登校の実態と対応について」を政策課題として設定しました。

17回の委員会と2回の勉強会を重ね、令和6年11月定例会にて提言書をまとめました。

不登校支援に関する情報提供を充実させること

保護者が孤立化しないよう悩みを共有できる場をつくること

校内サポートルーム及び支援員の配置、教育支援センターのサテライト施設の設置、フリースクール等民間事業者との連携を深め、ICTも活用するなど居場所の充実を図り、多様な教育の場を確保すること

などとなりました。

こうした対策を行うことにより年々増える不登校生が減少することを期待します。

提言内容はこちらから
確認できます（QRコード）



市長宛



教育長宛

